

## 展開案（1 / 3 時目）＜中学校＞

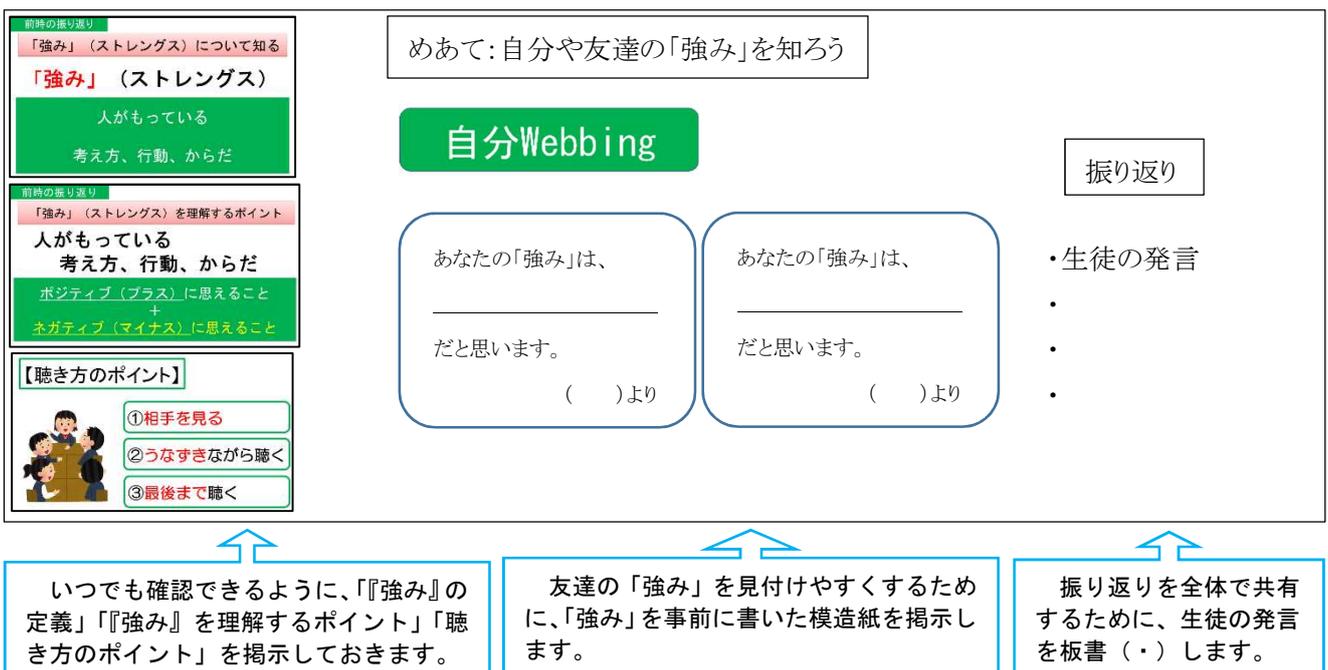
- ◆本時のねらい：「強み」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ることができるようにする。
  - ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を知ろう。
  - ◆本時の展開（※）については、授業者がスライドに加筆したり授業者自身の言葉で思いを伝えたりして、スムーズな活動につなげたり、学習への理解を深めさせたりすることもできます）
- \* ワークシートや振り返りシート等をまとめるもの（ファイル等）を準備します。

学習活動	スライド	指導上の留意点
(授業前)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングスライドを提示しておく。</li> <li>・他の先生から探してもらった「強み」を模造紙に書いて準備する。</li> <li>・交流活動ができる座席配置にしておく。</li> </ul>
1 3時間の学習活動の目標を知る。(2分)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3時間の内容と目標を伝えることにより、学習に見通しをもたせ、意欲を高めるようにする。</li> </ul>
2 「強み」(ストレンクス)について知る。(4分)	3・4	<p>※ 「強み」の考え方と「強み」を理解するポイントを、生徒とのやりとりを通して生徒が理解できるような平易な言葉で伝える。</p>
3 本時のめあてを知る。(1分)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてを黒板に掲示して、確認したり振り返ったりすることができるようにする。</li> </ul>
4 「自分 Webbing」の交流活動(4人*)を行う。(37分)	6・7	<p>※ 授業者自身に関する「自分 Webbing」を作成して、「自分 Webbing」の方法を伝えると同時に、教師自身が苦手なことも含めた自己開示をすることにより、生徒の自己開示を促す。</p>
(1) 自分に関すること(好きなものや苦手なことなど)を書く。活動①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～が苦手」に着目させ、その後のウェビングが意欲等につながっていることを示すことにより、考え方や生かし方次第で「強み」になることに気付くことができるようにする。</li> <li>・書くことが難しい生徒には、個別に言葉掛けをする。</li> </ul>
(2) グループの友達のワークシートに、友達の「強み」を考えて書く。活動②	8 9・10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の教師に事前を書いてもらった自筆の「強み」を紹介することにより、友達の「強み」を書きやすくする。</li> <li>・生徒が活動時間の見通しをもつことができるように、提示した時間の30秒ほど前に声を掛ける。</li> <li>・ウェビングが広がっておらず「強み」を見付けることが難しいと思われる生徒には、日常生活を思い出して書くように個別に言葉掛けをする。</li> <li>・期待感をもたせるために、3人目まで終了したら、ワークシートを裏返しにして、教師の合図で本人に渡すようにする。</li> </ul>

<p>(3) 友達を書いてくれた「強み」と「自分Webbing」を参考に、自分の「強み」を考えて書く。 <b>活動③</b></p>	<p>11</p>	<p>※ 生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことができない生徒がいる場合は「迷ったときは直感で書こう」と言葉掛けをすることにより、活動へスムーズに取り組みやすくする。</li> </ul>
<p>(4) 自分と友達の「強み」を伝え合う。<b>活動④</b></p>	<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聴き方のポイント」を伝えることにより、安心できる雰囲気の中で「強み」を伝え合うことができるようにする。</li> <li>・「強み」を伝え合うことにより、互いに自他の「強み」を知ることができるようにする。</li> </ul>
<p>5 本時の活動を振り返る。 (6分)</p> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p> <p>(2) グループで気付きを伝え合う。</p>	<p>13</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に提示した本時のめあてと活動を確認することにより、学習した内容を具体的に振り返ることができるようにする。</li> <li>・気付いたことや感じたことをグループで伝え合うことにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにする。</li> <li>・全体で出た感想を板書し、振り返る。</li> </ul> <p>※ 授業全体を通じた生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックしたり、学級や生徒の実態に応じて学習内容を具体的に意味付けたりすることにより、学習の効果を高めることができるようにする。</p>
<p>6 次時の活動を知る。 (1分)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにする。</li> </ul>

◆評価の視点：「強み」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ることができたか。

◆板書計画



◆授業前の取り扱い

- \* 交流活動におけるグループの人数は4人編成が望ましいが、4人にならない場合は、5人グループを編成する。その場合、ワークシートを回して行う活動では、指示通りに活動を進めて、3人回したところで終了する。
- ・グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ・(例) 授業前や導入において、構成的グループエンカウンターを行うことにより、親和的な雰囲気づくりが期待できる。

◆授業後の取組例

- ・学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介し、家庭でも言葉掛けをしていただくようにする。
- ・教室に「強み」コーナーを設けて、見つけた友達の「強み」をカードに書いて貼らせ、学級全体で共有できるようにする。
- ・学年集会や掲示板で紹介する。
- ・行事と関連させる。